

集団ごとの分析支援のイメージ

仕様書「4. 委託内容」(4)イに係るグラフ作成にあたっての基本的な考え方とグラフを用いた可視化について、以下の通り例示する。

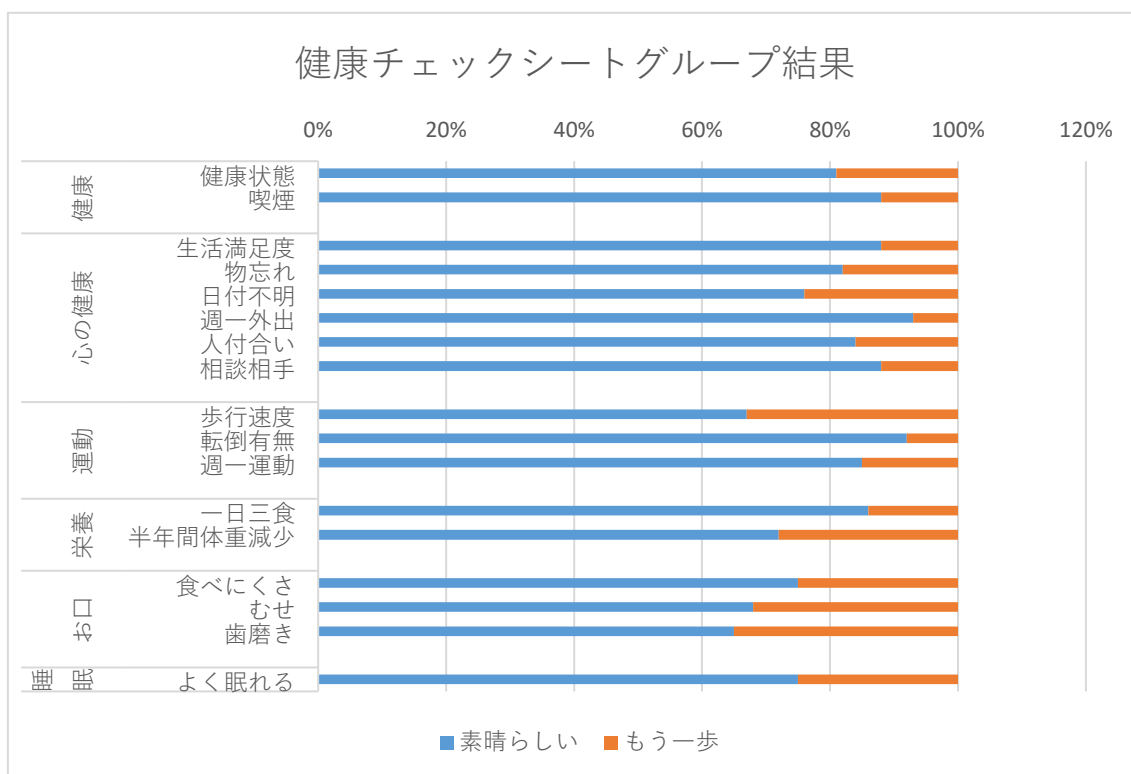
○グラフ作成にあたっての基本的な考え方

- ・ グラフには、作成に用いた標本数を明示すること。(N=〇〇)
- ・ 軸目盛もしくは凡例に、数値の単位等を明示すること。
- ・ 測定項目ごとに、軸目盛の単位や範囲を統一すること。
- ・ 測定項目にカットオフ値(測定結果の正常範囲とリスク範囲の境界となる値)がある場合は、目盛等に追加して明示すること。
- ・ 同一の測定項目について、複数集団間で比較する場合は、凡例等に各集団名を明示の上、並べて表す。

○可視化のイメージ

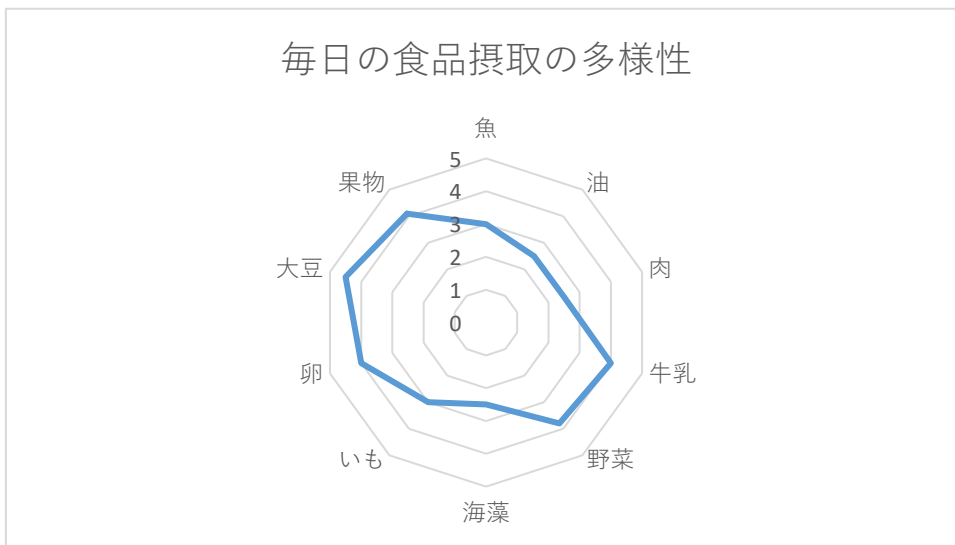
<後期高齢者の質問票>

例：よい傾向(素晴らしい)とよくない傾向(もう一歩)を示す



<食品群>

例：レーダーチャートで示す



<体力測定の結果>

グループ等の集団ごとに、測定項目別の結果を示す

- (例) ・握力 : 左右にかかわらず、最高値が性別に応じたカットオフ値以上の人数
- ・TUG : 性別にかかわらず最高値がカットオフ値以上の人数
- ・5回立ち上がり : 性別に応じたカットオフ値以上の人数

体力測定		
握力		
目標達成	12人	/14人中
TUG		
目標達成	11人	/14人中
5回立ち上がり		
目標達成	6人	/14人中

<歩行姿勢測定>

例：グループ等の集団ごとに、実年齢平均と歩行姿勢年齢平均の差を示す

歩行姿勢測定		
実年齢平均	79歳	歩行年齢は実年齢と比べ -5歳
歩行年齢平均	74歳	